保険銀行日報

発行所
保険銀行日報社
〒103－0013
東京都中央区日本橋人形町
2－23－1　福むらビル
電話　03-3664-7290
FAX　03-3664-3620
日刊　（土・日・祝祭日休刊）
購読料　1カ月3,600円
（消費税・送料込み）
© 保険銀行日報社　2011
http://www.hokenbank.com
e-mail:hgn@hokenbank.com

医療と所得保障、うつ病・認知症などに対応

まごころ少額短期

団体向けに「総合医療保険」発売

ネットで申し込み可能

まごころ少額短期保険は8月23日から、団体向けに日本で初めて、うつ病、認知症などに対応した「総合医療保険」を発売した。生命保険の医療保険と損害保険の精神行動障害保険に特化した所得保障保険を組み合わせた仕組みで、入院や手術に伴う医療費保障だけでなく、うつ病、認知症、統合失調症など精神行動障害による休職時における所得の一部も保障する。また、RGA再保険と業務提携し、同社のネット上での自動査定システム（医師の診査がない、ネットからの保険引き受けシステム）の技術提供を受けることで、インターネットから簡単な告知で保険の申し込みができる。とくに、既往症など医師の診断が必要とされる特別条件付引き受けについてもインターネットからの申し込みが可能で、これは国内保険業界初のシステム。

RGA再保と提携、自動査定システムを導入

総合医療保険は、販売対象が協会けんぽ・組合健保を利用する企業・団体等、または同就業先に所属する個人で、団体取扱特約の締結が前提となる。任意（個人）加入契約では、法人は従業員に福利厚生サービスとして情報提供し、従業員は自らが万一に備えて保険に加入する。団体（法人）加入契約は従業員規模100名以下の法人が対象で、法人は従業員の休職リスク対策を目的として従業員のために付保する。

保険期間は1年。保障内容は、傷害疾病による入院に対して入院日数に応じて入院保険金を支払い、傷害疾病による手術に対して手術保険金を支払う。また、うつ病や統合失調症などで休職する人に対し休職中の所得保障として精神行動障害保険金を支払い、精神行動障害保険金を受給しながら通院する人に対して通院回数に応じて、精神行動障害通院保険金を支払う。

日本の保険では免責の「うつ病」などの保障を割増保険料なしで保障し、精神行動障害保険金は「うつ病」などで4日以上休職したら1日2000円を最大60日分所得の上乗せとして支給するため、額面30万円の給与所得者の場合では、国の傷病手当金と合わせると給与の手取りと同額程度を確保できる。また、「うつ病」などで4日以上休職した以降の病院への通院に対しても1日2000円を月2回分支給する。また、普通分娩も最大6泊7日分を保障する。自己負担額5万円超（3割負担）の手術に一律10万円給付する。

入院保険金は日額5000円で1入院当たり60日（30万円）限度。手術保険金は1手術一律10万円で1保険期間当たり2回（20万円）限度。精神行動障害保険金は日額2000円で1保険期間当たり60日（12万円）限度。精神行動障害通院保険金は日額2000円で1保険期間当たり24回（月2回、4・8万円）限度。1保険期間限度額は、これらを合算して30万円。

なお、更新期間の通算限度は、入院保険金、手術保険金が無制限、精神行動障害保険金、精神行動障害通院保険金は各300日。

［保険料例］

保険料は5歳刻みで変更となり、1年更新の定期保険。男性（カッコ内は女性）の月払保険料は、25～29歳1440円（2160円）、30～34歳1460円（1890円）、35～39歳1570円（1890円）、40～44歳1670円（1740円）、45～49歳1850円（1750円）、50～54歳2210円（1910円）、55～59歳2870円（2190円）。

10月7日「盗難防止の日」

今年も損保業界一斉行動

全国47都道府県で盗難防止呼び掛け

10月7日の盗難防止の日に、損保業界が今年も一斉行動。朝の通勤時間帯を中心に全国47都道府県の街頭で盗難防止を呼び掛ける。

同活動は2003年から続けており、今年も「防犯チェックシート」と「カギかけ～ケロ～ん特製オリジナルクリアファイル」をセット配布し、自動車盗難・車上狙い・住宅侵入盗に対する防止を啓発、国民の防犯意識の向上を図る。

NKSJHD、単元株式数変更

10月1日付

NKSJホールディングスは、10月1日付で株式の併合、単元株式数の変更を行うと発表した。

株式併合については、普通株式について4株を1株の割合で併合する。また単元株式数の変更では、単元株式数を1000株から100株に変更する。この効力発生日は平成23年10月1日。

この変更に伴い、9月28日付で東京証券取引所、大阪証券取引所で同社株式の売買単位も1000株から100株に変更する。なお、株主については一切の手続きは不要。

第一生命

10年貸し付け基準金利上げ

第一生命は、当面の10年貸し付け基準金利を0・05%引き上げ1・45%とし、9日から適用を開始した。同金利は10年スワップレート・10年近傍国債流通利回り・公募普通社債発行時の実績レート等を総合的に勘案して、同社が独自に決定しているもの。

本紙購読は
〒103－0013　東京都中央区日本橋人形町2－23－1　保険銀行日報社　発送部へ
電話でも受け付けています。03（3664）7290

本会
日保険学会

来月22・23日に神戸で23年度大会

総会と招待報告・特別講演・シンポを開催

日本保険学会（江澤雅彦理事長）は10月22、23の両日、兵庫県神戸市の神戸学院大学「ポートアイランド・キャンパス」で、平成23年度「日本保険学会大会」を開催する。大会では、1日目の22日に平成23年度総会を開催するとともに、招待報告、特別講演、シンポジウムを開催する。翌23日は、三つのセッションでの会員からの報告と共通論題報告が行われる。

22日は午前に開会、江澤雅彦理事長の開会の辞の後、招待報告では、韓国保険学会会長の梁開山（Dr.Hae-san Yang）氏（全州大学校）が「韓国保険産業の現状と展望（Current Situation and Future Perspective of Korean Insurance Industry）」のテーマで報告（英語報告）する。

次いで平成23年度総会を開き、平成22年度事業報告・同決算、平成23年度事業計画案・同予算案、役員等候補者選考委員会員の選任、名誉会員の推薦、大日本保険学会賞発表など全議案を審議、決定する。

午後の特別講演では、水島一也氏（神戸大学名誉教授）が「私の保険研究を振り返って」の演題で行い、続いてのシンポジウムでは、「グローバリゼーションと保険会社の海外進出」のテーマで、野村秀明氏（三井住友海上）が「損害保険会社の海外事業展開」、谷口哲也氏（第一生命）が「アジアにおける生命保険事業展開」、沙銀華氏（東京海上日動（中国）有限公司）が「中国の保険市場の現状と外資系保険会社の国際化戦略」、久保英也氏（滋賀大学）が「日中および日本の相互・株式会社間の効率性比較からみた相互会社の国際化戦略」の演題でそれぞれ報告する。この後、報告者によるパネルディスカッションを行い、司会の久保英也氏がまとめの報告を行う。

第2日目の23日は、午前中に三つのセッションで会員がそれぞれ報告する。

午後の共通論題では「保険事業とERM」のテーマで、大城哲一氏（岡山商科大学）が「ERM展開の経緯と保険事業」、杉野文俊氏（専修大学）が「ERMの多様性と保険会社のERM」、長谷川俊明氏（長谷川俊明法律事務所）が「保険会社のERMとガバナンス」、植村信保氏（金融庁監督局）が「保険会社のERMと監督当局の関係」の演題でそれぞれ報告する。

最後にパネルディスカッションを行った後、司会の羽原敬一氏（関西大学）がまとめを発表する。

【23日の3セッション】

［第Ⅰセッション（経済・経営・商学系(1)）］

▽海上保険における「piracy」の解釈について＝報告者・平澤敦（中央大学）▽PTA安全補償制度運営上の諸問題～アンケート結果に対する一考察＝報告者・早川淑人（札幌学院大学）

［第Ⅱセッション（経済・経営・商学系(2)）］

▽損害保険会社のCSR＝報告者・鴻一喜芳（大分大学）▽保険会計と保険負債＝報告者・上野雄史（静岡県立大学）▽退職給付における制度選択・リスクシフト仮説の検証＝報告者・柳瀬典由（東京経済大学）

［第Ⅲセッション（法律系）］

▽非対面販売における保険募集の課題＝報告者・蝶田浩（au損保）▽損保ADRの現状と課題＝報告者・竹井直樹（損保協会）▽生命保険金請求権の質権設定について＝報告者・深澤泰弘（岩手大学）

平成23年度版
損害保険年鑑
損保元受営業の都道府県別実勢が把握できる!!
都道府県別のランキングもグラフで分かりやすく!!
業界唯一の統計集
好評発売中!!
■17社の種目別保険料・増収率・占有率　■全国都道府県の動向・「損保度」　■職員・外務直販社員・代理店数
□外国損保会社業容・都道府県別代理店数・共済契約・地震保険契約件数　など資料編も充実
A4判・160ページ
定価　2,800円
（消費税込み、送料別）
発行所　保険銀行日報社
〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町2-23-1福むらビル　電話03-3664-7290㈹　FAX03-3664-3620　http://www.hokenbank.com　お申し込みはFAXで発送部まで